

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	腹臥位 4 点フレーム使用時における体幹空間の温度・湿度変化と褥瘡発生リスクの関連に関する研究
研究責任者 (所属科名)	中央手術センター 看護師 森脇竜一
本研究の目的 ・意義	腹臥位(うつぶせ)は脊椎手術において頻用される体位であり、術野の確保や腹部圧迫の回避を目的として、4 点支持型の体位固定フレーム(以下、4 点フレーム)が広く使用されています。4 点フレームは、胸部および腸骨部の 4 点で体を支持し、腹部を浮かせる構造となっていますが、この設計により、胸腹部周囲に密閉された空間が形成されます。本研究目的は、この密閉空間の温度・湿度の時間的変化を手術中において測定し、その特性を明らかにすることです。 先行研究により湿潤環境は皮膚へ影響を与えることを示唆しており、温度・湿度変化を客観的に把握することで、腹臥位手術における褥瘡リスク管理に新たな視点を提供するものであると考えています。
調査方法 研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：倫理委員会承認後～2027 年 3 月の間に当院で脊椎手術(椎弓形成術)を受けられた方 研究期間：倫理委員会承認後～2027 年 11 月の間を予定しております。
該当資料・データ	★対象となる患者様 上記期間の間に当院で脊椎手術(椎弓形成術)を受けられた患者様です。 ★利用する情報 電子カルテ内に記載のある以下の診療記録、手術室内でのデータ等を利用します。 ・空間内の温湿度推移 ・体位保持時間、手術時間、BMI、年齢、皮膚の湿潤の有無 ・褥瘡の有無および重症度(反応性充血も含む)
個人情報の取り扱い	利用する情報から患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	広島市立北部医療センター安佐市民病院 研究担当者：中央手術センター 看護師 森脇竜一 電話：082-815-5211
備考	